

ダイヤモンド就活ナビ2026

4月活動調査



トピックス

1

選考状況

「本選考を受けた企業がある」学生は8割、「内定獲得」している学生は6割。
就活進行状況は、「エントリーシート提出」、「筆記・適性テスト」、「一次面接」の順に多い。

2

内定状況

内定獲得者の約7割が内定獲得企業に「インターンシップ類参加企業がある」と回答。
内定獲得者のうち内定を承諾した学生は過半数に(54.8%)。

3

就活観

24.2%が「就職先を決定し、活動を終了している」、65.7%が「就職を希望し、活動を継続している」状況。
就職活動を「楽観視している」層はあわせて6割。

【調査概要】

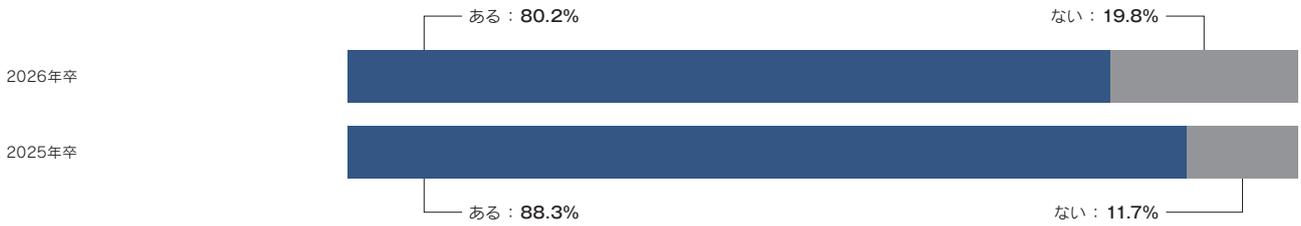
- 調査対象 / 2026年3月卒業予定の大学院生・大学生
■ 有効回答 / 455名
■ 調査期間 / 2025年4月7日(月)～2025年4月16日(水)
■ 調査方法 / Web入力フォームより回答

■ 4月活動調査内訳

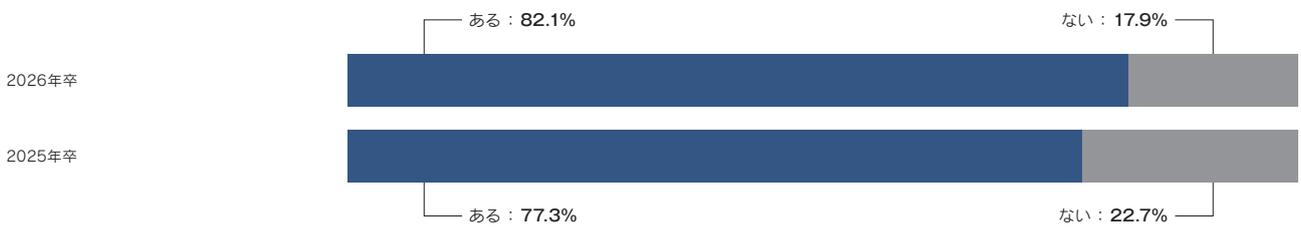
文理	文系:72.6% 理系:27.4%
エリア	北海道エリア:0.0% 東北エリア:0.9% 関東エリア:70.8% 甲信越エリア:6.6% 東海・北陸エリア:4.7% 関西エリア:11.3% 中国・四国エリア:4.7% 九州・沖縄エリア:0.9%
回答の多かった大学	中央大学 千葉大学 早稲田大学 日本大学 慶應義塾大学 信州大学 東京大学 東京外国語大学 立教大学 一橋大学 芝浦工業大学 関西学院大学 京都大学 南山大学 上智大学

1 選考状況

Q.1 | 本選考を受けた企業はありますか？

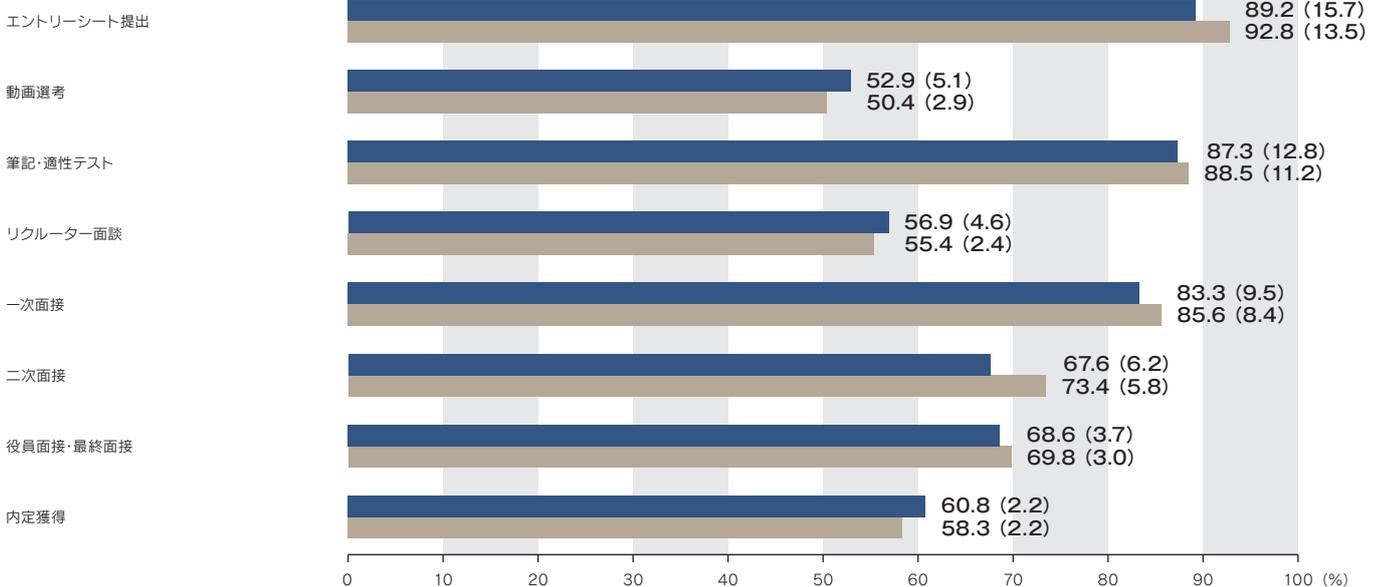


Q.2 | 本選考を受けた企業のうち、インターンシップ類に参加した企業はありますか？



Q.3 | 現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください。

()内は平均社数

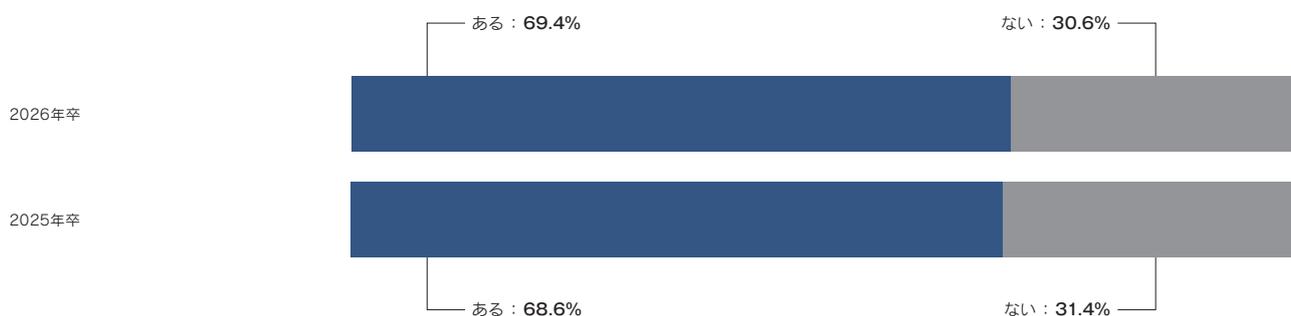


comment

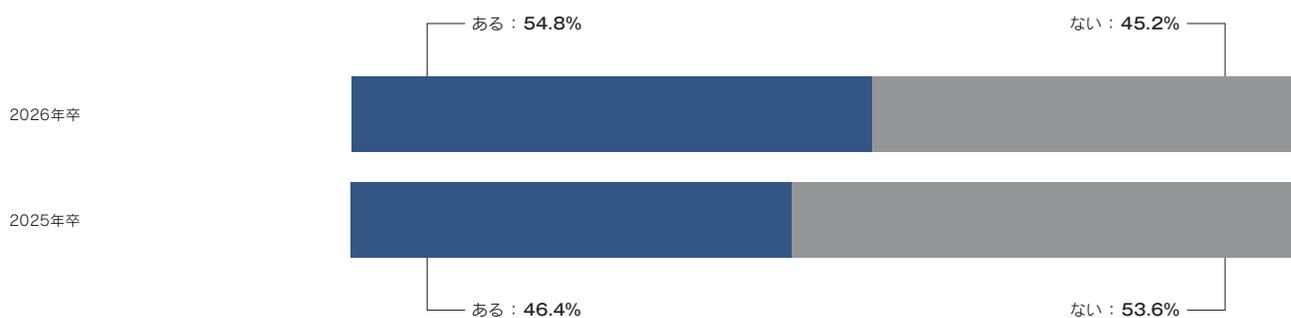
調査時点で「本選考を受けた企業がある」学生は昨年と比較して88.3% (25卒) → 80.2% (26卒) と8.1ポイント減少しているが、本選考を受けた企業の中に「インターンシップ類に参加した企業がある」と回答した学生は77.3% (25卒) → 82.1% (26卒) と4.8ポイント増加、「内定獲得」している学生も58.3% (25卒) → 60.8% (26卒) と微増している。
就活の進行状況は、25卒同様「エントリーシート提出」(89.2%)、「筆記・適性テスト」(87.3%)、「一次面接」(83.3%)の順に多い。

2 内定状況

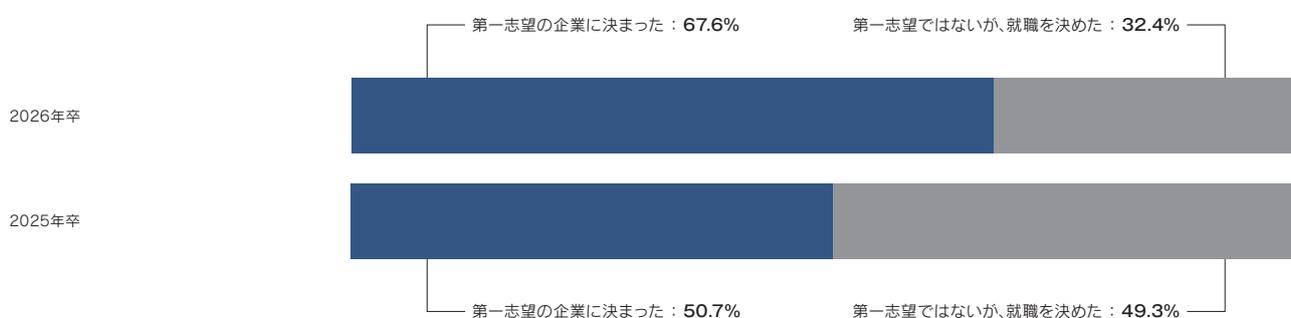
Q.4 | 内定獲得した企業のうち、インターンシップ類に参加した企業はありますか？



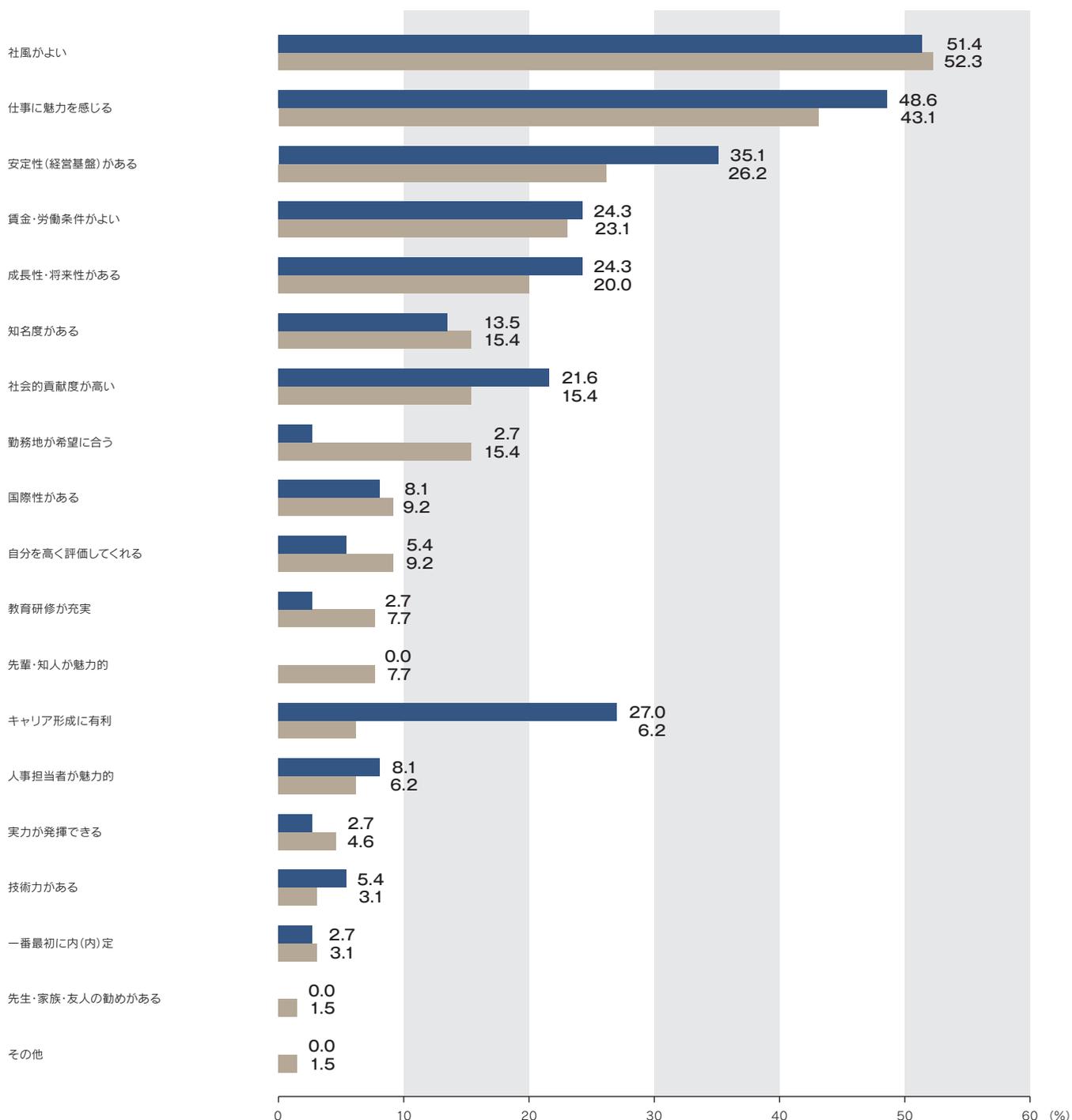
Q.5 | 内定をもらった企業のうち、入社を決めた(内定を承諾した)企業はありますか？



Q.6 | 就職先について、お聞かせください。



Q.7 | 入社を決めた理由をお選びください。



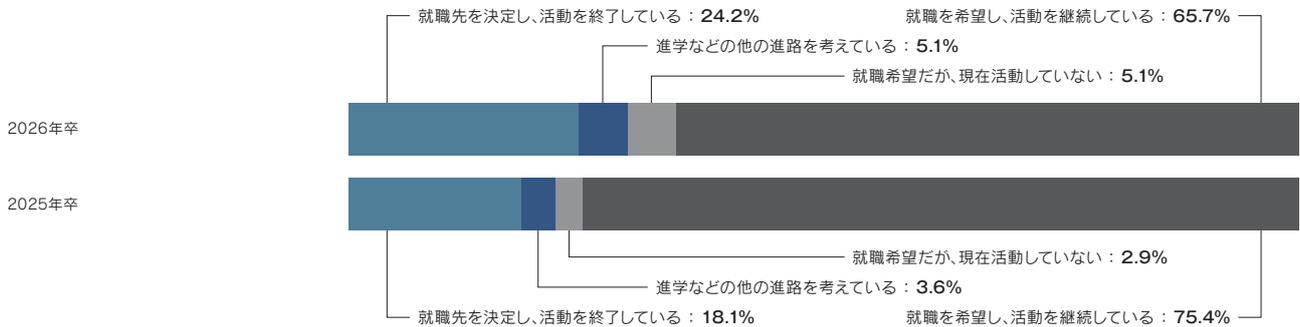
comment

内定獲得者(60.8%)のうち69.4%が、内定を獲得した企業に「インターンシップ類参加企業がある」と回答、つまり当調査回答者の4割強がインターンシップ類に参加した企業から内定を獲得した計算になる。内定承諾した学生は54.8%で、そのうち67.6%が「第一志望の企業に決まった」と回答。25卒(50.7%)と比較して16.9ポイント増加している。

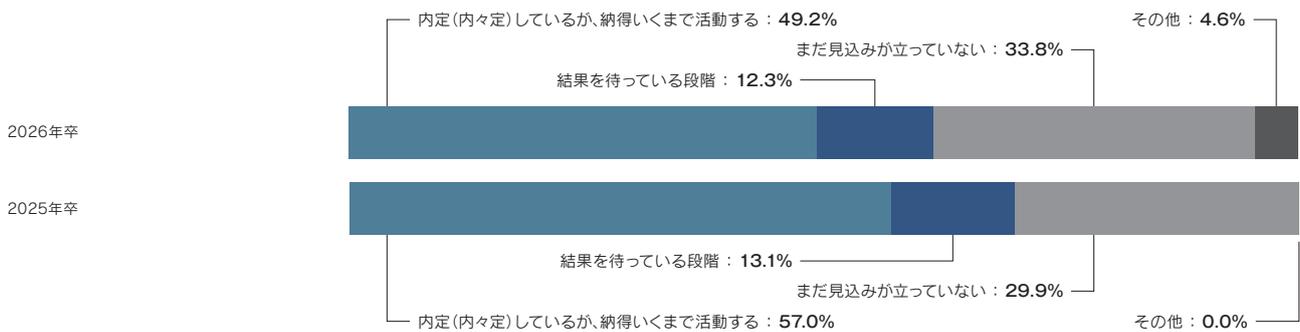
入社を決めた理由のトップ3は「社風がよい」、「仕事に魅力を感じる」、「安定性(経営基盤)がある」で昨年度調査と変わらないが、「キャリア形成に有利」が6.2%(25卒)→27.0%(26卒)と25卒より大幅に増加した。

3 就活観

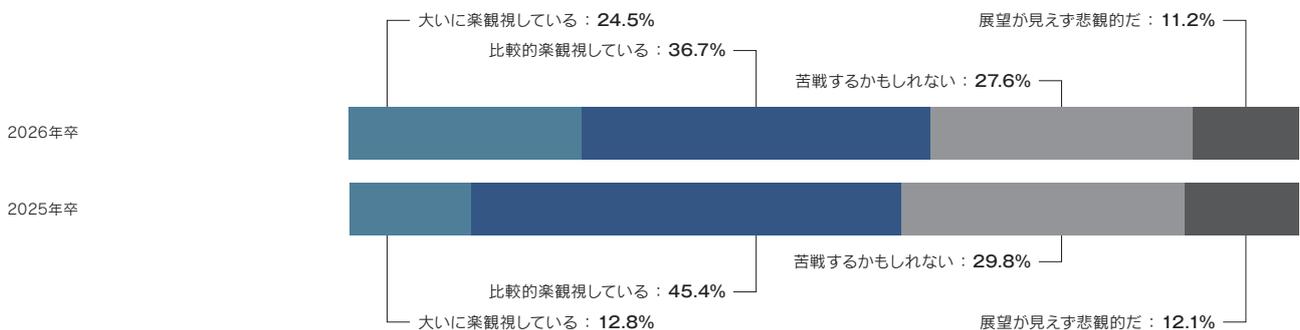
Q.8 | 現在の就活状況について、最も当てはまるものを選択してください。



Q.9 | (「就職を希望し、活動を継続している」と回答した方) 現在の状況について、最も当てはまるものを選択してください。



Q.10 | 就職活動について、現在の考えに近いものをお答えください。



comment

調査時点で24.2%が「就職先を決定し、活動を終了している」が、65.7%が「就職を希望し、活動を継続している」状況。うち、「内定(内々定)しているが、納得いくまで活動する」が約半数(49.2%)を占め、「まだ見込みが立っていない」(33.8%)、「結果を待っている段階」(12.3%)と続く。

そのような状況下で、就職活動を「大いに楽観視している」学生は24.5%、「比較的楽観視している」学生は36.7%で、合わせて6割超が就職活動を楽観視している。一方で、「展望が見えず悲観的だ」と答えた学生は11.2%おり、昨年(12.1%)とほぼ横ばいとなった。